イノシシ被害でお困りの方へ

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

＼ イノシシ被害STOP！ ／

防護柵設置のコツ

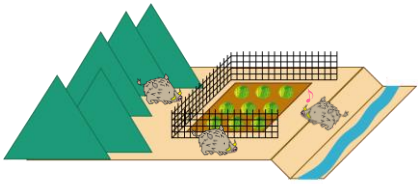
ワイヤーメッシュ編

イノシシ被害の対策に有効な**ワイヤーメッシュ柵**について、柵を設置する際の原則とポイントを紹介します。

より詳しい内容を知りたい方は、右記HPに掲載しております マニュアルをご覧ください。

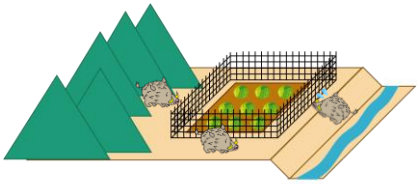
原則 01　農地をすべてぐるっと柵で囲う

× **悪い例**　河川側に柵を設置していない



山側だけに柵を設置していても、回り込んで柵内に侵入可能

○ **良い例**　農地全面に柵を設置している

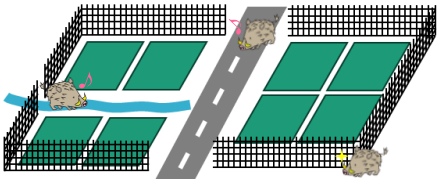


農地のすべての面に柵があるため、柵内に侵入不可能

イノシシは柵の無い所から農地に侵入します。山側だけでなく、道路、河川、水路、傾斜地側など、すべて囲ってください。

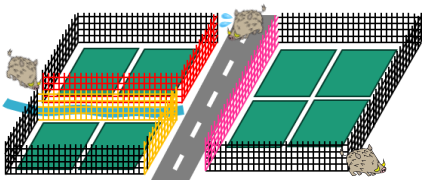
原則 02　水路や道路を横断することで柵を途切れさせない

× **悪い例**　柵が途切れている箇所がある



水路や道路にできた柵の切れ目から農地へ侵入可能

○ **良い例**　農地すべてが柵で囲いきれている



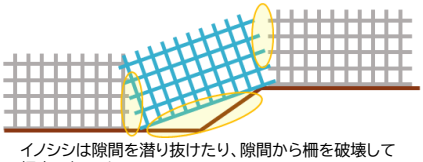
水路や道路沿いにも柵があり、農地へ侵入不可能

水路や道路で柵が途切れていると、イノシシはそこから侵入します。柵が途切れ無く、農地の周囲を囲いきれる範囲に分けて柵を設置しましょう。

原則 03　柵の地際や繋ぎ目にイノシシが通れる隙間を作らない

× **悪い例**

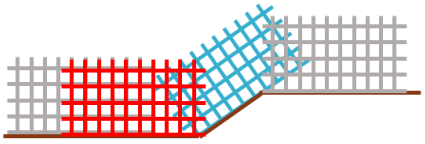
柵の連結部分や柵と地面の間に隙間がある



イノシシは隙間を潜り抜けたり、隙間から柵を破壊して柵内に侵入する

○ **良い例**

凹凸や段差に合わせて隙間ができないように設置



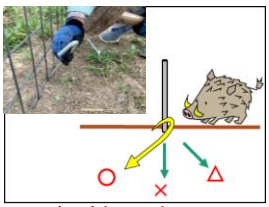
資材を多めに使い、隙間無く柵を設置することで、柵の連結部分に重なる部分が増え、強度も増す

柵と地面、または柵と柵の間にできた隙間から農地に侵入されないように、**隙間を作らない**ようにしましょう。

補強のポイント

イノシシの侵入跡

地際をパイプで固定

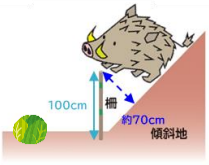


ペグは斜めに打ち込む

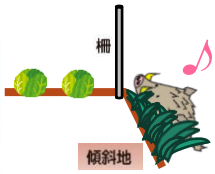
イノシシは地際部分を鼻で押し上げ、くぐり抜けて柵内に侵入するため、**地際の補強**が重要です。**柵の接地面に鉄パイプや竹などの長い棒状の資材を結束バンドなどで固定すると**、非常に強度が高くなります。

原則 04　傾斜地（斜面）から離して柵を設置する

× 悪い例　傾斜地の境界に柵を設置

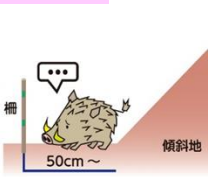


柵を乗り越えられやすい

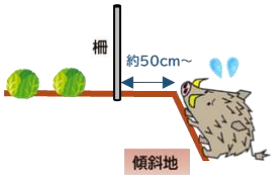


柵外側の管理が難しい

○ 良い例　傾斜地の境界から離して柵を設置



柵を乗り越えられにくい



柵外側の管理がしやすい

傾斜地の境界に設置した柵は、管理が難しく、イノシシに侵入されやすくなります。人が歩ける程度の幅を確保しましょう。

原則 05　農作物から離して柵を設置する

× 悪い例　農作物が柵の外にはみ出している

柵の外側で農作物を食べることができ、次は柵内に侵入したくなる

○ 良い例　柵と農作物の間に余裕がある

柵内への侵入を諦めやすくなる

・人が余裕をもって歩ける幅、草刈りなどの管理がしやすい幅を確保する
・除草剤や防草シートも活用する

柵の外から食害されたり、イノシシが無理やり柵内に侵入しようとする場合があるため、農作物と柵の間に幅を確保しましょう。

原則 06　柵設置後は、定期的に点検・維持管理作業を行う

× 悪い例　点検や維持管理作業をせずに放置

イノシシによって破損した柵

草に覆われ、機能が低下した柵

○ 良い例　定期的に点検や維持管理作業を実施

破損した箇所を修繕した柵

柵周辺の下草が刈払われた柵

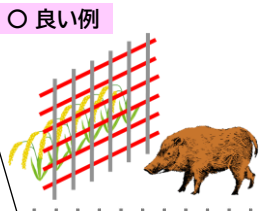
柵設置後は、**こまめに点検・補修**を行いましょう。
また、**下草の管理**（柵が見える程度）も必要です。

設置する際に気をつけるポイント

ポイント 1　ワイヤーメッシュの裏表に注意

柵の鉄線は、横線が作物側、縦線がイノシシ側にする

○ 良い例

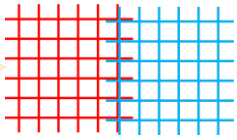

イノシシが横の鉄線を噛んで引っ張っても、縦の鉄線があるため壊れにくい

ポイント 2　連結部分は1マス重ねて設置

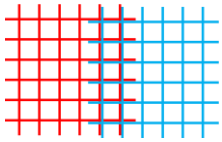
飛び出している先端だけでなく、1マス重ねる

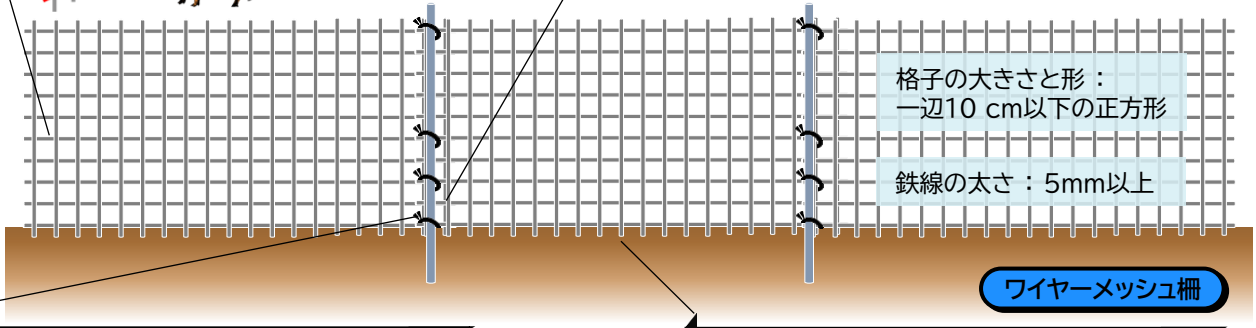
1マス重ねない場合、強度が弱くなり、力が加わると隙間も空きやすい

× 悪い例



○ 良い例





ポイント 3　柵と支柱はしっかり固定

地面から0cm、20cm、40cm、柵上部の4か所、たすき掛けにして固定する

柵の下部を重点的に固定する。たすき掛けすると結束線が動かなくなり、丈夫になる。

ポイント 4　下部は地面に突き刺す

ワイヤーメッシュの下部は踏んだりハンマーで叩いて地面に突き刺す

地際が固定され、強度が上がる。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター
〒690-3405　島根県飯石郡飯南町上来島1207
E-mail（担当科）：chusankan-choju@pref.shimane.lg.jp
担当科：鳥獣対策科
TEL:0854-76-3818
FAX:0854-76-3758